



東京港便覧 2019



港湾関係官公署及び団体

名称	電話	所在地
東京都港湾局	(5320)5524(代)	〒163-8001 新宿区西新宿2-8-1 〒108-0075 港区港南3-9-56
東京港管理事務所	(5463)0214	〒108-0075 港区港南3-9-56
東京港建設事務所	(3471)0441	〒135-0053 江東区辰巳1-1-33 〒100-8918
高潮対策センター	(3521)3013	千代田区豊洲2-1-3 中央合同庁舎3号館 〒231-8436 横浜市中区北仲通5-57 横浜第2合同庁舎
国土交通省港湾局	(5253)8111(代)	〒136-0082 江東区新木場1-6-25 〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
国土交通省関東地方整備局港湾空港部	045(211)7406	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
国土交通省関東地方整備局東京港湾事務所	(5534)1360	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
国土交通省関東地方整備局東京運輸支局青海庁舎	(5530)2320	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
東京海上保安部	(5564)1118	〒108-8255 港区港南5-5-30 〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
法務省東京入国管理局	(5796)7111	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
厚生労働省東京検疫所	(3599)1511	〒104-0053 中央区晴海3-7-1 東京海員会館内 〒135-8507 品川区東八潮3-1 船の科学館
農林水産省横浜検疫所東京支所	(3599)1136	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
農林水産省動物検疫所東京出張所	(3529)3021	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
東京税関	(3589)6214	〒135-0064 江東区青海2-7-11 東京港湾合同庁舎
東京湾岸警備署	(3570)0110	〒108-0022 港区海浜3-9-45 東京防衛局海浜庁舎1F 〒108-0023 港区芝浦3-5-38 港協会館
東京消防庁臨海消防署	(3534)0119	〒135-8481 江東区永代1-13-3 倉庫会館2F 〒108-0022 港区海岸3-33-17
東京港埠頭(株)	(3589)7303	〒135-0063 江東区有明3-13-1 〒135-0064 江東区有明3-6-11 TFTビル東館7F
(一財)東京港湾福利厚生協会	(3452)6391	〒135-0064 江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル4F
(一財)東京船員厚生協会	(3531)2216	
(公財)日本海事科学振興財団	(5500)1111(代)	
(社)東京都港湾振興協会	(5500)2584	
(社)東京港運協会	(5444)2151	
品川公共職業安定所港湾労働課	(3452)4851	
東京港湾港運送事業協同組合	(3452)3811	
東京倉庫協会	(3641)5086	
東京湾水先区水先人会東京事務所	(3453)1691	
(株)ゆりかもめ	(3529)7777(代)	
(株)東京レポートセンター	(5500)0055	
東京臨海熱供給(株)	(5564)2351	
(株)東京臨海ホールディングス	(5564)1211	

東京港の概要

1 位置

東京湾は、日本列島のほぼ中央部に位置し、その後背圏は、わが国産業経済の中核である東京をはじめとして、関東平野を中心とする東日本全域におよび、きわめて重要な地位を占めています。

湾内には、東京、横浜、川崎、千葉、横浜、横須賀、木更津の6港があります。特に東京、横浜、川崎、千葉は、我が国屈指の大港湾で、それぞれのその背後都市の性格により、特色ある港湾の姿をもっています。東京港は、この東京湾の最奥部にあり、銀座よりバスで15分の間近にあります。

地理上は、北緯35度31分から35度41分、東経139度44分から139度51分の間に位置しています。

2 港湾区域 (港湾法)

荒川右岸突端 (旧堀江三角点 (北緯35度38分30秒 東経139度52分20秒) から298度51分36秒 3,118.47メートルの地点)、同点より、183度58分45秒 9,752メートルの地点、多摩川口旧羽田燈標より、143度30分 2,950メートルの地点、多摩川口における行政区画境界線の終点及び多摩川左岸下流端を順次結んだ線、多摩川左岸下流端より左岸沿いに海老取川左岸上流端に至る線及び陸岸により囲まれた海面並びに海老取川、汐留川、築地川 (2級)、月島川、佃川の河川水面及び隅田川水代橋、築地川 (1級) 明石橋、築地川東支流海幸橋、亀島川南高橋、越前堀栄橋、洲崎川延長九重橋各下流の河川水面。(水域面積は、約5,166ha)

3 海底の地質

港内海底の地質は、おおむね砂まじりの泥土であって、船舶の錨泊に最も適しています。

4 潮位 (気象庁東京検潮所の観測結果から)

潮位名称	潮位(メートル)	観測時
さく望平均満潮位	A. P.+2.052	平成25年～平成29年平均
さく望平均干潮位	A. P.+0.073	
平均潮位	A. P.+1.174	
既往最高潮位	A. P.+4.212	大正6年10月1日

(東京市史稿 港湾篇第1より)

ただし、本港湾の基準面は東京湾平均海面 (旧称、東京湾中等潮位) 下1.14メートルとしています。

5 潮流 (新東京港波浪観測所の観測結果から) (2010年10月1日観測開始)

流速の最大値は、平成23年3月11日 (平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震による津波) に61.0 cm/s が観測されています。

6 風向・風速 (新東京港波浪観測所の観測結果から) (2010年10月1日観測開始)

平成22年10月から平成29年の累計の統計によると、最多風向は北で16.0%出現し、北北西もほぼ同じ頻度 (15.6%) の出現があります。また、南が15.6%出現しています。10.0m/s を越す強風の最多風向は南です。

また、最も出現頻度が高い風速階級は、3.0m/s～3.9m/s (14.7%)、次いで2.0～2.9m/s、4.0～4.9m/s 及び 5.0～5.9m/s がそれぞれ11～14%ずつ出現しています。

最大風速は、平成23年9月21日18時に出現した、南の風30.3m/sでした。

7 港湾計画

「港湾計画」は、港湾管理者である東京都が、港湾法に基づき東京港の今後の施設整備計画や空間利用計画、環境施策などを長期的な視点で定める基本計画です。

平成26年9月開催の東京都港湾審議会の議を経て、目標年次を平成30年代後半とする「東京港第8次改訂港湾計画」を策定しました。

主な内容として以下の施設を計画しております。

- ・新規計画
- ①大井コンテナふ頭
増加するコンテナ貨物に対応するため、既存ふ頭 (大井水産物ふ頭) の用途変更を行い、コンテナふ頭 (1バース) を計画
- ②15号地コンテナふ頭
急増するアジア貨物に対応するため、係船利用の低下している木材関連施設を再編し、コンテナふ頭 (2バース) を計画
- ③品川コンテナふ頭
船舶の大船化に対応するため、増深 (水深10m⇒11m) を計画
- ・既定計画 (整備中含む)
- ①中央防波堤外側・新海面処分場コンテナふ頭 (4バース)
- ②13号地客船ふ頭 (1バース)
- ③臨海道路南北線 (4車線)

今後も、東京港が首都圏の生活と産業を支えるメインポートの役割を担っていくため、事業の具体化に向けて、更に検討・調整を図ってまいります。

8 津波・高潮対策

東京港では、津波・高潮対策として、防潮堤や水門等の海岸保全施設を整備しています。東日本大震災を教訓とし、最大級の地震が発生した場合でも津波等による浸水を防ぐため、平成24年12月に、平成33年度までの10年間を計画期間とする「東京港海岸保全施設整備計画」を策定しました。現在、この計画に基づき、防潮堤・内部護岸の耐震対策や、水門・排水機場の耐震・耐水対策等を進めています。

東京港港湾計画図 (8次改訂)



東京港図 Port of Tokyo 2019

「この地図の作成に当たっては、国土院院長の承認を得て、関係機関の2万5千分1地図、2万5千分1集積図及び基盤地図情報を使用した。(測図番号 平30測図第1267号)」

